



カラーでご覧になりたい方は、錦小HP「学校だより」<http://www.ueis.ed.jp/school/nishiki/>までHPでは、学校だよりで紹介できなかった写真も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

いじめゼロに向けて～いじめゼロ強調月間～

9月は、いじめゼロ強調月間ということで、全児童、全教職員が「いじめは絶対に許さない」という共通認識のもと、いじめの未然防止と早期発見・早期解決を目指して、いじめ対策への取組を行っております。

例年ですと、児童会の運営委員が、いじめ防止についての創作劇を全校児童に披露するなどの活動によりいじめ防止についての意識を高める「いじめゼロ集会」を行っておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、集会は行いません。その代わりに、運営委員が業間の時間に各学級を回り、「いじめをしない・いじめに負けない・いじめを許さない」という思いを児童にもってもらおう呼びかけを行いました。

ご家庭では、お子さんの様子をよく見ていただき、元気がない、登校を渋るなどのサインに気づいたときには、お子さんからよく話を聞くなど、十分にコミュニケーションをとってくださるようお願いいたします。学校生活での友達関係が原因の場合など、気になることがございましたら、担任や副校長まですぐにご連絡いただければ、直ちに対応いたします。

地域では、いじめを起こさせないようにするために、進んで児童とあいさつを交わしたり、問題行動が見られたときには声をかけたりしていただけるとありがたいと思います。



運営委員による呼びかけの様子

「社会に開かれた教育課程」～錦小の教育12～



☆市の重点施策・事業との関連について☆

宇都宮市教育委員会では、市の教育の重点施策・事業として、(1) 地域とともにある学校づくり (2) 小中一貫教育・地域学校園 (3) 不登校対策 を設定しています。

今回は、(2) 小中一貫教育・地域学校園についての基本的な考えと主な取組を紹介します。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的な考え・・・陽北地域学校園の児童生徒を、同じ方向・歩調で育むために連携・協力を図る。

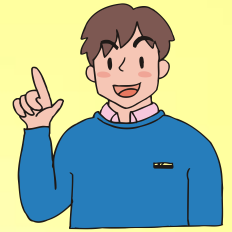
② 主な取組・・・陽北地域学校園教育ビジョンに基づき、次の部会活動の充実を図る。

小中合同授業力向上プロジェクト、児童生徒指導強化連絡会及び不登校対策協議会の充実、小中合同あいさつ運動の実践、小学校6年児童による中学校訪問等

小中一貫教育・陽北地域学校園では、「学び合い 認め合い 高め合う 陽北地域学校園」を地域学校園の教育ビジョンとしています。

陽北中・東小・錦小・豊郷南小の4校が連携・一貫して「学び合い 認め合い 高め合う」教育実践に取り組むことにより、児童生徒が目標をもって授業や行事を行う過程で、教師や児童同士が個々の努力や成長を認めることで自己有用感を育み、より意欲的に生活しようとする態度の育成を図ります。また、相互に関わり合いながら「共に学ぶこと」「共に行動すること」「共に生きること」について考えさせながら、各校における教育課程実践の充実・深化を図るよう積極的に取り組んでおります。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、可能な範囲で取組を進めております。

おじゃまします！！教室訪問 ～3の〇～



今回は、3年〇組です。担任は、M 先生です。算数の時間にお邪魔しました。

本時は、「なみ木道」という題材名の学習のところで、「木の本数と間の数の関係の問題（植木算）を図や式などを用いて筋道を立てて考えることができる」をねらいとして授業が行われました。

授業開始にあたり、先生は、「勉強の基本は、姿勢です。姿勢は、ぐーびたでしたね。」と言って、「椅子に座る姿勢は、おなかと背中にグーが入るぐらいに開けて、足の裏をびたっと床に付けて、前かがみにならないように背筋を伸ばして椅子に座りましょう。」と児童に呼びかけました。児童達は、普段から姿勢についての指導を受けているため、とても良い姿勢になって前を向き、話を聞く態勢にすみやかに入ることができていました。

授業の最初に、先生は、「最初に、前の時間の復習をします。」と言って、前の時間の算数の授業内容（あまりのある割り算）を確かめた後、黒板に① $60 \div 9$ ② $11 \div 3$ ③ $18 \div 6$ の問題を書き、児童に取り組みせました。児童達は、進んで真剣に問題に取り組み、短時間で答えを出すことができていました。

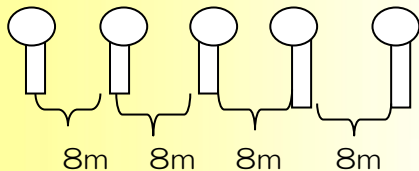
それから、先生が黒板に答えを書いてくれる人を募ると多くの児童の手が挙がり、その中から3名の児童が指名され、黒板の前に出てきて答えを書きました。答え合わせを全体で行い、ほとんどの児童が正解で、前の時間までの学習内容をよく習得できている様子がよく分かりました。

復習が終わり、いよいよ本時の学習活動に入ります。まず、配付されたプリントの問題を児童全員で読みます。『木が8mおきに5本植えてあります。はしからはしまでは何mでしょうか。』そして、先生が、「今日のめあては、これです。」と言って、黒板に『自分の考えを説明しよう。友達の考えを理解しよう。』と書きました。児童達も、プリントにめあてを書きます。

そして、先生は、「問題を解くのは、足し算になるか、掛け算になるかは、分かりませんよ。それを考えていくのが大切です。」と話し、さらに、「自分の考えを説明するためには、どうすればよいでしょう。相手によく分かるように絵や図などを書いてみましょう。また、お隣の席の人に説明をすることになります。相手によくわかってもらえるように大きく書くとういんですね。」と具体的に取り組む内容や注意点を説明しました。児童達は姿勢よく先生の話を真剣に聞き、取り組むべきことについてしっかりと理解できているようでした。

早速、どの子も意欲的に学習に取り組んでいきました。先生は、児童の学習の様子を見守りながら必要に応じて個別に指導をしていきます。児童達は、絵や図に表しながら問題の解決に取り組んでいきました。

児童各自の自力解決の活動後、隣同士で考えを説明し合う活動に入ります。まず、児童同士の密集で感染リスクが高まらないように、先生が「隣同士でも間をしっかりと開け、お互いに面と向き合わず、プリントの方を向いて説明をしましょう。」と丁寧な指導をしました。児童たちは、先生の注意を守りながら、隣同士で自分の問題の解き方について説明をしていきました。



木から木まで8m。木は5本立っているけど、木から木の間は4しかないから $8+8+8+8=32$ 答えは、32mです。

8mおきに木を5本ならべると、・・・
8mの間は4つある！だから $8 \times 4 = 32$ 答えは、32mです。

5本の木があって、1本目から5本目までの長さを聞いているから、8mの長さところとは4回あって、 8×4 で計算すると答えが出ます。または、 $8+8+8+8=32$ で 答えは、32mです。

児童の様子を見ていると、絵や図に並木の様子を明確に表現することにより、「木の本数」と「間の距離（長さ）」との数の違い（木の本数－1）について考えることができ、問題文で尋ねている「はしからはしまでの距離」について正答を出し、分かりやすく説明できている児童が見られました。しかし、木の本数の5という数字に注目しすぎて、図では、4か所しかない「間の距離」を5として $8 \times 5 = 40$ としてしまった児童も見られました。先生は、児童の活動を見守りながら、児童の問題解決の状況や活動の様子をしっかりと把握していきました。その後、2名の児童が実物投影機を使用しながら全員の児童の前で考え方を発表し、答えを確かめていきました。児童達は、自分の考えと比べながら、友達の説明をよく聞き、考えを理解することができていました。間違えてしまった児童も、友達の説明をもとに誤りに気付いていきました。最後の振り返りでも、めあてに即してしっかりと自己評価ができていました。

M先生は、社会が専門で、宇都宮市の3.4年生社会科副読本の編集委員も務めています。また、交通安全主任としても活躍しております。M先生とともに、3年〇組の児童たちがこれからもさらにぐんぐん力を付け、より一段と素晴らしい児童に育つことを大いに期待しています。



※ 読みやすさを考え、教員の呼称は、「教諭」ではなく、「先生」とさせていただきます。

※ 地域・ホームページ用の学校便りでは、不特定多数の人の目に触れることもあるため、教職員の名前は、イニシャルにし、顔写真は、カットしております。ご了承ください。